

中部様式

令和7年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価  
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

岐南町地域公共交通活性化協議会  
(岐南町)

令和3年12月1日設置

令和4年6月24日 岐南町地域公共交通計画策定  
(計画期間：令和4年6月～令和9年3月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業  
・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

## 地域概況

町内の公共交通は、名古屋鉄道（名鉄）、岐阜乗合自動車（岐阜バス）、タクシー、町コミュニティバス、町コミュニティタクシー（デマンド型）で構成。

- ▶ 人口：26,508人（令和7年10月1日現在）
  - ▶ 鉄道：名鉄名古屋本線
  - ▶ 地域間幹線系統：岐阜バス松籟加納線
  - ▶ フィーダー系統：町コミュニティバス

## 岐南町地域公共交通計画

## 基本方針

住み続けられるまちを目指して地域で育てる公共交通

## 【目標①】

## 多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築

## 【目標②】

## 公共交通の利用拡大

### 【目標③】

## 持続可能な公共交通体系の実現

## 主要な施策

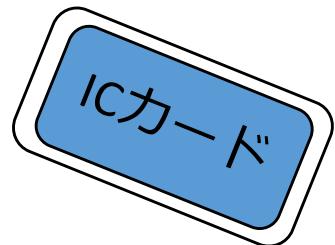
- ▶町コミュニティバスの運行（令和4年9月～）
  - ▶町コミュニティタクシーの運行
  - ▶おためし乗車会の開催
  - ▶公共交通に関するワークショップの実施

※事業見直しに向けて



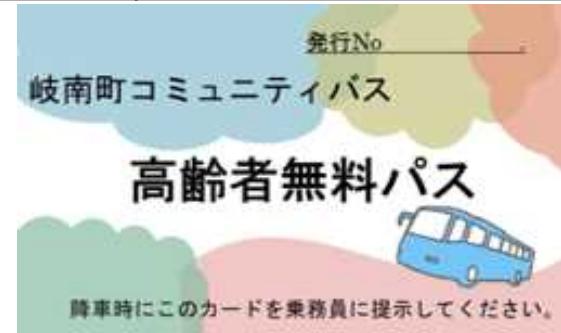
分類	役割	対象路線
幹線路線 	周辺都市との広域的な都市間移動を促進し、周辺自治体との連携や交流の活性化を図ります	名鉄名古屋本線 岐阜バス岐南町線 しうらい 松籜加納線
準幹線路線 	周辺自治体との連携や交流の活性化を図ります	岐阜バス笠松川島線  R7.10.1廃止
生活交通路線 	町内の暮らしのニーズに対応するとともに、町内各地から鉄道駅や幹線路線バス停留所を連絡し、日常生活における移動を支援します	岐南町コミュニティバス (地域内フィーダー系統) 岐南町コミュニティタクシー
個別輸送	鉄道・バス・コミュニティタクシーではカバーできない個別需要に対応します	タクシー 福祉輸送
交通結節点 	各交通手段の接続を強化し、多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築を図ります	岐南駅、笠松駅、岐南町役場、岐南町三宅

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
★コミュニティバスの運行 (フィーダー補助受給系統)	コミュニティバスの運行を継続	前年に比べて利用者が21% 増加 (11,506人→13,949人)	運賃改定、ICカードの導入 拡大、乗車機会を増やす取組 などにより、利用が増加。
コミュニティバスICカード乗 車券の拡大（キャッシュレス化 の推進）	R6.3コミュニティバスに全国交 通系ICカードの導入	ICカード決済率 R6事業年度：28.72% R7事業年度：43.02% 笠松駅月平均乗降者 R6事業年度：422人 R7事業年度：562人	鉄道との乗り継ぎで利便性が 増したことがICカードでの決 済率に表れている。 笠松駅での利用者数も導入後 に増えている。
コミュニティバス運賃改正	R6.10小学生の運賃を無料化	(無料化前：未就学児) 月平均7人 (無料化後：小学生以下) 月平均28人	これまでも小学生の利用が あったかは不明。 今後の利用者数の推移を注視。
コミュニティバスの臨時 運行・運賃無料デーの実施	①運行3周年を記念して運賃無料 デー（6日間）を実施 ②イベント開催に合わせて運賃無 料コミュニティバスを臨時運行	利用者数 ①R6事業年度 無料期間以外：38.9人／日 無料期間：55.3人／日 R7事業年度 無料期間以外：47.5人／日 無料期間：55.0人／日 ②ぎなんフェスタ 2024 114人 2025 96人	通常の1日あたりに比べると、 運賃無料デーの利用者は多い (47.5人→55.0人)。 この取組は、コミバス事業の 広報に効果がある。



## 2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
75歳以上の方のコミュニティバスの運賃免除 (高齢者無料バス)	R4.9の運行当初から75歳以上の方は無料でコミュニティバスを利用できるところ、保険証の廃止に伴い、R7.6から年齢確認手段に無料バスを追加	無料バスの発行枚数：20人 75歳以上の運賃免除者(累計) R6事業年度：1,551人 R7事業年度：1,635人	75歳以上の利用者が徐々に増えている。 運転免許証返納に伴う、自家用車から公共交通への転換に一定の効果がある。
コミュニティタクシーの運行	デマンド交通の運行を継続	前年に比べて利用者が37%増加 (2,691人→3,659人)	通院の利用が増えており、地域における高齢者の移動手段として定着しつつある。
小学生乗り方教室	コミュニティバスを用いて、バス停での待ち方、時刻表の見方、バスの乗り方降り方等を学習	町内小学校で実施 R6.11.19北小 参加児童46人 R7.11.21西小 参加児童165人 R7.12.3西小 参加児童63人	R6アンケート結果より、楽しかった子が95%、今までよりもっとバスに乗ってみたい子が78%と公共交通への親しみが増した。 (R7アンケート結果は集計中)
公共交通アンケートの実施	R6.12町内の高齢者を対象に移動実態・公共交通の利用状況についてアンケート	回答数 370人 配布数 600人 (回答率：61.7%)	現行のコミュニティバス・コミュニティタクシーについて、運行本数や停留所の配置、予約方法について課題が具体化
公共交通ワークショップ	R7.8町内在住、在勤、在学している方から参加者を募り、公共交通が継続できるよう、参加者で話し合い	町内 3か所で実施 参加者 64人	



### 3. 【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

目標	評価指標・目標値（2025年度）	達成状況			考察	
		1年目	2年目	3年目		
多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築	年間利用者数（人／年） ※10月～9月	コミュニティバス 29,200人／年	8,599	11,506	13,949	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるため未達成。
		コミュニティタクシー 1,700人／年	1,846	2,691	3,659	隣接する町の地域医療支援病院にも区域を広げたことにより目標を達成した。
	公共交通の利用者満足度（%）  満足していると回答した人の割合=「良い、やや良い、普通」と答えた利用者の割合	コミュニティバス 現況値から10ポイント以上増加 ※現況値81.7%（2023）	現況値が存在しない	未実施	未実施	公共交通の改善を図るため、利用者アンケートに代わり、町内の高齢者を対象としたアンケート、町内在住、在勤、在学者を対象としたワークショップを実施した。 目標値の達成状況は未確認。
		コミュニティタクシー 現況値から10ポイント以上増加 ※現況値97.1%（2023）	現況値が存在しない	未実施	未実施	
公共交通の利用拡大	人口1人あたりの年間利用回数（回／年） ※10月～9月	コミュニティバス 1回／年以上	0.33	0.44	0.53	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるため未達成。
		コミュニティタクシー 0.06回／年以上	0.07	0.10	0.14	隣接する町の地域医療支援病院にも区域を広げたことにより目標を達成した。
持続可能な公共交通体系の実現	利用者1人あたりの運行経費（円／人） ※10月～9月	コミュニティバス 942円／人以下	3,095	2,340	1,955	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるため未達成。
		コミュニティタクシー 880円／人以下	1,009	1,044	1,020	コロナの影響がなくなり平均乗車密度は高くなつたが、人件費の増加で、目標を達成しなかつた。

## 【コミュニティバス】

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
年間利用者数は現状では未達成であるが、利用者数の増加傾向が続いている。	乗車機会を増やす取組（運賃無料デー、イベントに合わせた臨時運行、小学生乗り方教室）を引き続き実施する。
利用者満足度を調査するアンケートを実施していない。	利用者アンケートではないが、町内の高齢者を対象としたアンケートを実施したほか、コムバスとコムタクのあり方について話し合うワークショップを実施し、公共交通のニーズの把握に努めた。 今後はそれらの結果を踏まえ、課題の解消を図っていく。
利用者1人あたりの運行経費は現状では未達成であるが、利用者数の増加傾向が続いている。	利用者数の増加により運賃収入は増えると見込まれるが、そのほかの収入増（広告収入や事業所協賛金）にも努める。

## 【コミュニティタクシー】

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
利用者数・利用回数は既に達成したが、利用者1人あたりの運行経費は未達成である。	計画策定時には想定していなかった、運転者の労働条件改善等を行うための運行経費の値上げもあり、利用者1人当たりの運行経費の目標値の達成は難しいが、利用者数が増えるほど、乗合率が改善される傾向にあることから、さらなる利用者増に取り組む。

## 5. 直近2年間の二次評価の活用・対応状況

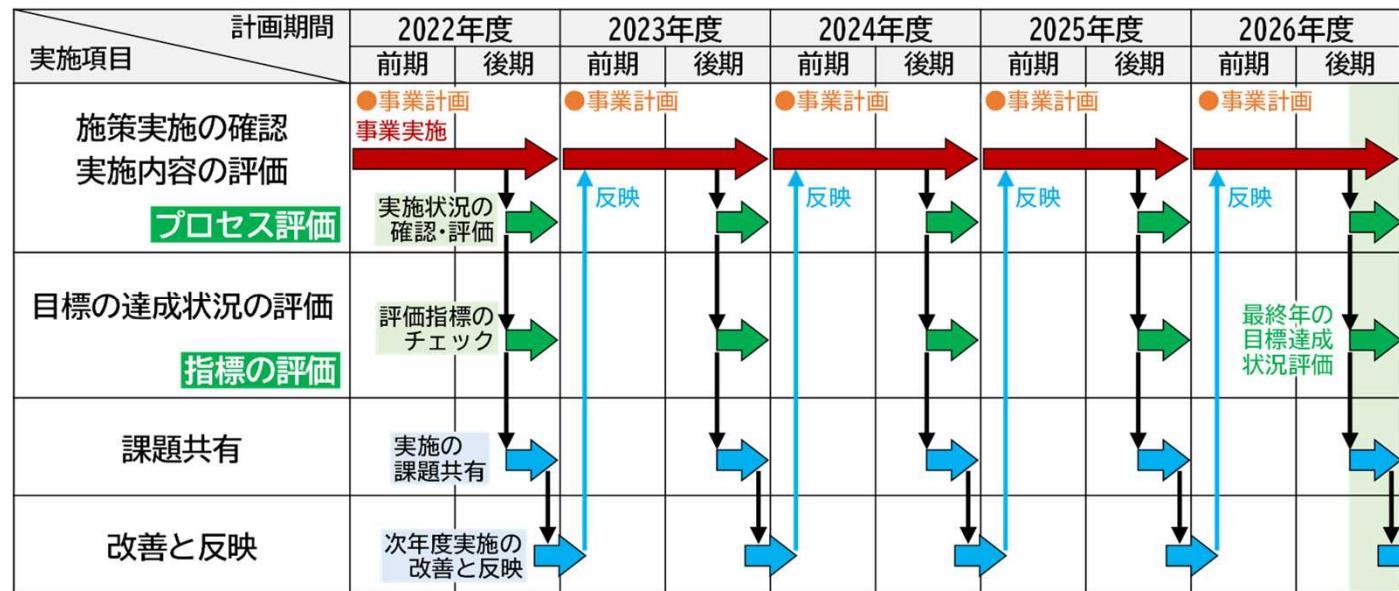
7

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	利用状況を把握分析し、より効果的な利用促進や、新規利用者の開拓等の施策に繋げる取組をされることを期待する。	コミュニティバス・コミュニティタクシーについて、便別利用者数、停留所別利用者数を確認するなどし、どのような特性が表れているか確認した。	コミュニティバスの便別利用者数、停留所別利用者数から、通勤・通学での利用が推測されるため、目的に沿った移動がスムーズに行われるよう運行形態別に方向性を定める。
	町内を運行する地域間幹線系統については、引き続き、岐阜県・岐阜市・事業者間で認識の共有を行うとともに、関係者間で連携して利用促進等に取り組まれたい。	利用状況の分析や高齢者向けアンケート・ワークショップを実施した。	コミバスの見直しに際しては、町内の公共交通との乗り継ぎを考慮する。
前々回	コミュニティバスとコミュニティタクシーの組合せなどによるおでかけ確保のあり方に関する調査・分析に取り組むことを期待する。	利用状況の分析や高齢者向けアンケート・ワークショップを実施した。	コミバス・コミタクそれぞれの主な用途、想定される利用者から役割を分けて効率的な運行を行う。
	通勤・通学の利用ニーズに応える「定期券導入」など、改善や工夫を進めるなどを期待する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国交通系ICカードの導入により、バス～鉄道の接続の利便性が増した。</li> <li>R6.10にダイヤ改正を行い、朝の通学で使用できる範囲が広がった。</li> </ul>	コミュニティバスについて、通勤通学に対応できるようルート・運行本数等を見直す。
	小・中学生に向けても、利用しやすさを知ってもらえる取組の検討・実施を期待する。	<p>町内の小学校で小学生コミバス乗り方教室を開催した。</p> <p>小学生までのコミバス運賃を無料にした。</p>	引き続き、小・中学校に事業への参加を呼び掛ける。
	地域との協働・共創の下、利用しやすい公共交通の確保維持に取り組むことを期待する。	保育施設や子ども会などがコミバスを使ったイベントを開催するがあれば、役場職員によるレクチャーを行った。	コミバス車内に子どもたちが描いた絵を展示するなど、愛着を醸成する取組も継続する。

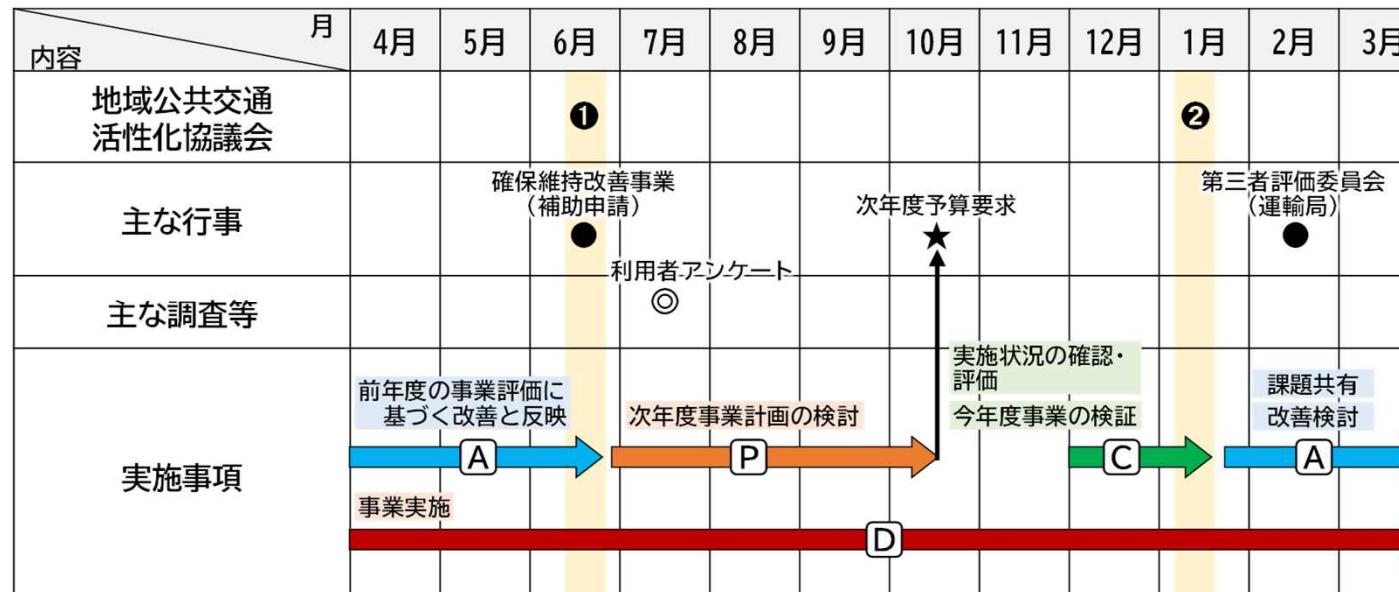
※前回：令和7年3月27日、前々回：令和6年3月21日

# 6. 計画・評価の推進体制

## 【計画期間中のスケジュール】



## 【年間スケジュール】



## 【協議会の開催状況】

- 令和5年度  
第1回会議（書面） 6月26日  
<協議事項>  
(1) 地域公共交通確保維持事業に係る計画について  
(2) 令和4年度事業報告について  
(3) 令和5年度事業計画について  
第2回会議 1月11日  
<協議事項>  
(1) コミュニティバス・タクシー事業の評価について
- 令和6年度  
第1回会議 6月18日  
<協議事項>  
(1) 岐南町地域公共交通計画別紙(案)について  
(2) 令和5年度事業報告について  
(3) 令和6年度事業計画について  
第2回会議 1月20日  
<協議事項>  
(1) コミュニティバス・タクシー事業の評価について

- 令和7年度  
第1回会議 6月23日  
<協議事項>  
(1) 岐南町地域公共交通計画別紙(案)について  
(2) 令和6年度事業報告について  
(3) 令和7年度事業計画について  
第2回会議 1月16日  
<協議事項>  
(1) コミュニティバス・タクシー事業の評価について  
(2) 持続可能な公共交通について

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名：岐南町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A ・ B ・ C 評 価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A ・ B ・ C 評 価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
岐南町地域公共交通活性化協議会	<p>岐南町コミュニティバス(左回り)</p> <p>岐南町コミュニティバス(右回り)</p>	<p>▶利用状況を把握分析し、より効果的な利用促進や、新規利用者の開拓等の施策に繋げる取組をされることを期待する。 ⇒高齢者を対象にしたアンケートを実施したほか、コミバスとコミタクのあり方について話し合うワークショップを実施し、公共交通のニーズの把握に努めた。</p> <p>▶町内を運行する地域間幹線系統については、引き続き、岐阜県・岐阜市・事業者間で認識の共有を行うとともに、関係者間で連携して利用促進等に取り組まれたい。 ⇒未実施</p>	<p>目標年度(令和7年度)に向けて計画した事業を順次実施していく。</p> <p><b>B</b> 【A・B・C評価】 A:達成・おおむね達成 B:未達成だが安定した増加傾向 C:未達成</p>	<p>▶年間利用者数 目標値:29,200人／年 達成状況:13,949人／年 ※高齢化の進展を考慮した高い目標値であり未達成だが、昨年を大幅に上回っている。</p> <p>▶利用者満足度 未実施 ※事業見直しの検討中であるため、アンケート調査を行わなかった。</p> <p>▶人口1人あたりの年間利用回数 目標値:1回／年以上 達成状況:0.53回／年 ※高齢化の進展を考慮した高い目標値であり未達成だが、昨年を上回っている。</p> <p>▶利用者1人あたりの運行経費 目標値:942円／人以下 達成状況:1,955円／人 ※高齢化の進展を考慮した高い目標値であり未達成だが、昨年を上回っている。</p>	<p>▶乗車機会を増やす取組(運賃無料化、イベントに合わせた臨時運行、小学生乗り方教室)を継続する。</p> <p>▶利用者アンケートではないが、町内の高齢者を対象としたアンケートを実施したほか、コミバスとコミタクのあり方について話し合うワークショップを実施し、公共交通のニーズの把握に努めた。 今後はそれらの結果を踏まえ、課題の解消を図っていく。</p> <p>▶利用者数の増加により運賃収入は増えると見込まれるが、そのほかの収入増(広告収入や事業所協賛金)にも努める。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	岐南町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>岐南町内では、民間路線バスの減便など、公共交通ネットワークの確保維持が厳しい状況にあります。公共交通は地域にとって重要なインフラの一つであり、このような状況の中でも、買い物・通院、通勤・通学等の暮らしのニーズに対応した公共交通ネットワークを構築し、日常生活に必要な移動手段を確保・維持していく必要があるため、地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)により、岐南町コミュニティバスを運行します。</p> <p>岐南町地域公共交通計画では「住み続けられるまちを目指して地域で育てる公共交通」を基本方針に掲げ、「多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築」「公共交通の利用拡大」「持続可能な公共交通体系の実現」に向けて取り組んでいきます。</p>